



令和 4 年11月号

社会福祉法人翠浩会  
障害者支援施設

新 光 苑

<http://www.shinkoen.net/>  
〒360-0832 熊谷市小島527番地  
TEL. 048-532-0665



「暑さ寒さも彼岸まで」と言われて来ましたが、今年には異常気象で暑い日もあれば、冬を感じさせる寒い日もあり、今迄の常識は通用しない程、地球温暖化は進行しているように思います。

加えて「ロシア」による「ウクライナ」侵略も、先のない迷路に入ってしまったように感じますが、この先どうなるのでしょうか。

故安倍元首相の国葬は、世論の反対が賛成を上回っても開催されましたが、その後「世界平和統一家庭連合」と自民党内の特に「安倍派」との深い関係が発覚し、芋づる式に自民党議員の関係も判明し、混迷を深めています。

又「アベノミクス」で無制限の金融緩和や無担保・無利息の融資等で、景気の回復と物価の上昇を考えた訳ですが、現実には「ウクライナ」の侵攻を契機として、今迄のツケが一挙に吹き出した感じがします。

GDPの2倍の借金を抱えている日本に、底無しに進んでいる「円安」に対して、断固たる対策を取る力があるのでしょうか。

急激な円安の背景にあるのが米国の利上げによる日米の金利差の拡大です。経済を支える為に、金利を低く抑える金融緩和を続ける日本との金利差により、円を売って金利の高いドル買いが広がっ

た結果です。

円安は輸入価格の上昇を通じて家計の負担を重くしています。ある経済関係者の試算によると、2人以上の世帯の22年度の出費額は食費の増加などで、前年度に比べて平均で8万6462円増える見通しだそうです。

「コロナ禍」がやっと収まったと安堵したところに円安が発生し、施設運営の今後に不安を感じております。

過日「さいたま市」の障害者施設の今後の運営に対しての見通し結果が出ていました。「不安がある」が30%、「何とか継続して行ける」が40%、「今迄と同じ様にやってゆける」が30%のように記憶しています。

これからの施設運営の最大の課題は「求人問題」だと思います。福祉施設に関係なく、他業種と同じ給与で募集しても、少子化の影響で新卒の採用は非常に難しくなっています。

この度、「新光苑美術館」の再開に当たり40年前の障害者授産施設「ひばりの家」の建設に、寄附を頂いた方々にお礼として「見学優待券」を送りしたいと思ひ、寄附金帳を調べたところ、何と6割前後の会社が消えているのに愕然としました。如何に事業を継続して行くことが難しいかを改めて思い知らされました。

限られた支援サービス費の中で、利用者様への「サービス」を落とす事なく、効率的な運営に務め、財務体質を強くして、万が一に備えると共に、職員一同が「改革なくして、前進なし」を自覚して努力して行く中に、存続ができるのではないのでしょうか。

# 苑長より

苑長 横川与志子



一昨年の大規模修繕工事・今年度の「短期入所6号棟」と駐車場整備完了に伴う関係者各位のお披露目は、コロナ禍によりできずにあります。また利用者・保護者様には各種制約をお願いし、ご迷惑をお掛けしてしております。

ただ9月に、苑内4回目のコロナワクチン接種がほぼ終了したことに伴い、利用者様の外泊・外出・面会等を緩和致しました。

また約2年間の休館を経て、10月から新光苑美術館見学を再開しています。開館は平日の午前9時から11時までと午後1時半から3時半までです。是非新生新光苑と美術館をご覧ください。美術館の再開に関しては、9月30日埼玉新聞に記事が掲載されました。

永らく懸案だったホームページやパンフレットの更新を進めています。偶然にも10月から放送開始となったテレビ埼玉の新番組「彩の国就活天国」の取材を受け、11月3日(祝)午後9時45分から10時まで放映される事になりました。見逃し配信もありますし、映像はHPからいつでもご覧頂ける予定です。

また、かつて天井走行リフト3台とリフト車整備の助成金を頂戴した、JKA(競輪・競艇振興会)様の取材も受け、動画制作して頂きました。合わせて楽しみにご覧下さい。

# 業務改革

部長 江村 玲



先月2名の欠員が出ましたので入所者様募集をしております。これからは情報を密にして欠員を速やかにお知らせする体制を作ります。

また、来年の新職員の採用に関しては基本給の大幅なアップや処遇の改善などに努めています。苑としては今後も入所利用者様と職員確保への職場環境整備、業務改善を進めなければなりません。

入所を希望する方の受け入れ体制を作っていくのは職員側の仕事です。どのような利用者様でも可能な限り受け入れられる体制を整えるために、職員の意見を積極的に取り入れ課題を乗り越えていきたいと思っております。

職員確保・定着のための取り組みとして、多様な働き方を進めるべきだと考えます。その一つとして、一日10時間勤務により休日数の増加の提案がありました。まだまだ課題が多く、準備段階ですが、他に実施している事業所もあることから、十分に検証して取り組んでいきたいと思っております。また、開苑から30年が過ぎ、業務の見直しをする必要性を感じています。当たり前だと思ってるやっていると見直し、無駄を省くことで仕事の負担を減らすことができ、必要な支援の取り組みに繋がると考えます。

これからは、物価高騰や職員不足といった様々な問題に対応しながら運営をしてゆく中、職員は自らの職場に誇りを持ち、常に改革の意識を持って仕事に立ち向かって行くべきだと思います。

# 北本市民生委員見学

9月27日、北本市の民生委員・児童委員協議会37名が、施設見学に来苑されました。半年以上も前からお問い合わせを頂いていましたが、今回コロナ感染状況・ワクチン接種状況を検討して、お受けしました。

大型バスで到着後、ホール棟にて理事長の挨拶と苑長より苑の概要説明を致しました。また苑の紹介動画と「なんでも鑑定段」のVTRをご覧くださいました。

その後、密を避ける為4つのグループに分かれ、事務長と部長も案内役として施設と美術館の見学をして頂きました。皆さん、熱心に質問して下さい、規模の大きさと清潔さ、それと美術品のすばらしさに驚かれていらっしゃいました。





# 納涼祭

## 萩谷亮太

今年度は納涼祭を8月23日(火)に行ないました。今年の目標は「利用者様達が楽しんで参加出来る、ストレスを発散し良い気分転換に繋がる様取り組む」と決めました。

場所はホール棟に全員集まり行なう予定でしたが、コロナウイルスの流行により入所課はI課食堂とII課食堂に分かれて、III課はホール棟で行ないました。

余興で「シユガーブレッシング」様にピアノの弾き語りを依頼しました。ピアノの弾き語りを聴いた利用者様達は自然と笑顔になり、歌を口ずさむ姿が見られました。コロナ禍で歌の余興は不安もありましたが、利用者様の喜ぶ姿を見られとても嬉しい気持ちになりました。

毎年ビンゴゲームを行なっていたのですが、今年はいくじ引きに変更して「新光苑サマージャンボ」と銘打ち抽選会をしました。前もって利用者様に抽選番号を渡し、抽選会で3〜1等賞の順で発表しました。1等賞が当たり落涙しながら喜んでいる利用者様の姿が見られて、職員で協力し準備した事が報われたように感じました。

飾りつけは利用者様の書道作品を主に使用し、風鈴を作成しました。職員だけではなく、利用者様も準備の段階から楽しんで参加できる様工夫しました。会場3カ所に合計200個飾り、夏らしい雰囲気作りが出来たのではないかと思います。

来年は保護者様も参加して頂き、皆で楽しめる日が来る事を心から祈っております。



# 運動会

## 串原佳那

10月11日(火)今年もホール棟で入所課・III課合同の運動会を行ないました。

競技種目は「玉入れ」「宅配便リレー」「パン取り競争」の3種目でした。職員が知恵を絞り、ルールを工夫し本当に楽しめる競技でした。

苑内で行う行事は規模を縮小していますが、年に一度しかない運動会を思いきり楽しんだの



は、利用者様のみならず職員も一緒でした。玉入れでは、職員が背負ったカゴに多く球を入れた課が勝ちという単純なルールでしたが、単純だからこそ盛り上がり、利用者様・職員も夢中で球を投げ入れていました。表彰式で「MVP」に輝いた右井利用者様が、感激のあまり落涙した姿が印象的でした。いずれにしても、久し振りに利用者様の笑顔が多くみられ、職員も一緒に楽しめ、有意義な運動会でした。

# 新光苑医療の返遷

看護師 鳥谷部 恵美子

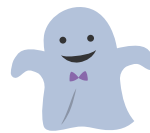
平成元年新光苑開苑、その時に入所された利用者様も30歳が64歳になり高齢化しています。当時は病気を患う利用者様は少なく、日勤看護師（月曜～金曜）2人で健康観察していく事は容易でした。

年齢を重ねると共に、体調不良者の受診や緊急搬送の増加により支援員の負担が大きくなり、土・日曜の日勤看護師配置、夜間の看護師配置を進め、現在では障害者施設では殆ど見られない24時間体制を採っています。

他の障害者施設と比べ、看護師配置は充分ですが、脳性麻痺の方だけでなく中途障害者（事故・病気）・知的障害者も受け入れ、また親子後の「終の棲家」としての看取りも行なっています。

私が入職した平成25年の医療処置は、1名の褥瘡と尿留置力テールでした。9年後の現在は、繰り返し誤嚥性肺炎で経口摂取不可となり胃瘻造設10名・尿留置力テール9名・膀胱瘻1名・気管切開1名です。

生活介護・ショートステイ利用者様でも胃瘻・経鼻経管・褥瘡・膀胱瘻・ストーマ・摘便・浣腸等、入所者様だけでなく医療処置を必要とする利用者様が増加し、看護師が重要な役割を担っています。



# 新光苑のハロウィーン

10月28日(金)午後、職員有志が仮装に工夫を凝らしハロウィーン祭りを行ないました。利用者様に可愛くラッピングしたお菓子を配りながら苑内を練り歩きました。

# ご寄附のお知らせ

今回コロナ禍が落ち着いたことにより、3年振りに対面での個別支援計画を実施する事ができました。保護者の方々から現金のご寄附を頂戴いたしましたので、ご報告します。

10月21日 50万円  
近藤 菜穂子様 (保護者)

10月27日 100万円  
山本 夏代様 (保護者)

10月28日 50万円  
三田 良晴様 (保護者)

どうもありがとうございました。有効に使わせて頂きます。

# 編集後記

国会は「旧統一教会」問題に振り回され、国民は生活必需品の値上がりで苦しんでいます。一日も早い安定を願っています。

